

「体験」を取り
入れた学習

中学校

フィールドワークを中心に事前・事後の指導を計画的・系統的に実施することで、様々な人権問題に気づき、社会の一員として、よりよい社会づくりに貢献しようとする意欲や態度を身に付けるとともに、コミュニケーション能力の向上を図る学習。

コミュニケーション能力

- コミュニケーション技能
- 多様性に対する開かれた心
- 社会への参加・参画の意欲

活動計画

1

「新聞から『人権』に関する記事を探そう！」

- グループで新聞から人権に関する記事を切り抜き、模造紙に整理する。
- 学級で発表会を行い、気づいたことを交流する。
- 人権にかかわる記事が多岐にわたることに気づく。
- 人権が大切にされる社会を目指して、様々な場で活動している人がいることに気づく。

2

「身近で人権にかかわる活動をしている人を探そう！」

- 身近で活動している人や組織を探す。
- インターネットで調べたり、公民館や市役所、法務局などに行って尋ねる。

3

「訪問の準備をしよう！」

- グループで関係する人権問題について調べ学習を行い、質問内容等を検討する。
- 安全や礼儀・マナー、事後学習の内容について確認

4

「活動されている人から学ぼう！」

- 活動されている人から話を聞く。
- 活動場所や施設を訪問し、話を聞いたり、体験活動を行う。

5

「調べたことや学んだことをまとめ、発表しよう！」

- グループで協力しながら、調査内容をまとめる。
- 報告会に向け、資料を作成する。
- 学年で報告会を行う。

6

「人権が大切にされる社会をめざして、「今、私にできること」について考えよう！」

- 学習活動全体を振り返り、まとめる。
- 人権にかかわることは、ごく身近なところにあるという意識をもち、自分の生き方と結びつけ、「今、私にできること」について考え、学級で交流する。

第1学年総合的な学習 単元名「人権について考えよう」
「新聞から『人権』に関する記事を探そう！」

1

本時のねらい

- 新聞記事から人権に関する記事を探す学習活動を通して、人権に関わる事柄が多岐に渡ることや様々な場で活動している人がいることに気付かせる。
- グループによる活動を通して、協力的・建設的に課題解決に取り組む意欲・態度や分かり合うためのコミュニケーションの技能を育てる。

	学習活動	教師の支援・援助
導入	1 アイスブレーキングを行う。 2 今日のめあてを知る。 新聞から「人権」に関する記事を探そう！	○ 学級独自で工夫し、緊張ほぐしの活動を行う。
展開	3 活動の説明を聞く。 ○ 各グループで1週間分の新聞記事の中から、例示した人権課題（例：高齢者の人権、子どもの人権、障害者の人権など）に関係があると思われる記事を分担して切り抜く。 ○ 各グループで切り抜いた記事をすべて読み合い、その人権課題とどのように関係するのかを考えて話し合う。 ○ 切り抜いた記事を分類し模造紙に貼り付け、わかりやすく見出しをつける。 4 グループで協力して、新聞から人権に関わる記事を切り抜く。 5 切り抜いた記事をグループで読み合い、どのような人権課題に関係するのかを考え、分類する。 6 模造紙に分類した新聞記事を貼り、それにふさわしいタイトルをつける。	○ あらかじめ指示しておいた1週間分の新聞を用いて、活動の説明を行う。 ○ 各グループを回りながら、支援を行う。
整理	7 学級全体で感想や意見を交流する。 (1) 各グループで模造紙をもとに発表する。 (2) 各自で活動を振り返り、感じたことや感想等をワークシートに記入する。 (3) 感想や気付いたこと、自分たちの身近な事例等について交流する。 8 まとめをする。	○ グループで順番に模造紙をもとにして発表を行わせる。 ○ 活動を通して、人権の保障や侵害について感じたり、考えたり、新たに気付いたことなどを問いかけ、振り返らせる。 ○ 記入したことを数人に発表させる。また、身近に活動している人など、新聞記事以外で知ったことも発表させる。 ○ 人権にかかわる事が多岐にわたり、様々な場で活動している人がいることに気付かせ、今後の学習活動につなげる。

第1学年総合的な学習の時間 単元名「人権について考えよう」 5
「調べたことや学んだことをまとめ、発表しよう！」

本時のねらい

- 各グループの発表を通して、様々な人権問題に気づき、よりよい社会づくりに向けて活動しようとする意欲や態度を育てる。
- グループによる発表や意見交流を通して、協力的・建設的に課題解決に取り組む意欲・態度や的確に伝え、分かり合うためのコミュニケーションの技能を育てる。

	学習活動	教師の支援・援助
導入	1 前時までを振り返り、今日のめあてを確認する。	○ 本時の活動の目的をつかませるため、全体的な学習の流れを説明する。
	調べたことや学んだことを、みんながわかりやすいように報告しよう！	
展開	2 人権課題ごとのグループの報告を聞き、感想や意見の交流を行う。 (1) グループごとに報告し、質問や意見に答える。	○ 各グループ10分程度の時間設定で報告を行う。 〈報告→質問→返答→感想・意見〉 ○ 報告内容に対する疑問点や良かった点などを学習プリントに記入させる時間を取る。 ○ 各グループの報告の後、学習プリントをもとに、質問・感想・意見等を発表させる。 ○ 質問や意見には分かりやすく答えさせる。
整理	3 報告及び意見交流についての助言を聞く。	○ 各報告内容をさらに深めさせるために、助言者（教師・GT）が、助言を行う。
	4 まとめをする。	○ 報告や意見交流を通して、新たに気付いたことや感想を学習プリントに記入させる。

【学習活動を進めるに当たって】

- どの機関・組織を訪問すれば、課題についての情報が得られ、生徒にとってよい学習の場となるかを事前に把握しておきましょう。
- 地域の人材リストを作成するなど、地域の学習資源を蓄えていくことで、次年度の取組につながり、学校としてより発展的な成果を上げることができます。
- 人と人とのつながりやふれあい、子どもの安全を見守る活動なども人権の視点で捉えることができます。このような人権の普遍的な部分について、広い意味で捉えることを生徒に知らせることにより、人権に関する具体的な問題を自分の生き方と結びつけ、「今、私のできること」を考える視点につなげることができます。

【調査例：子どもの人権】訪問先：子ども支援NPO（質問項目例）

- ① いつ頃、どういう目的でこの活動を始めましたか。
- ② 具体的にどのような活動をされていますか。
- ③ 最もやりがいを感じる時は、どんなときですか。
- ④ 1番苦労することや困っていることはどんなことですか。
- ⑤ 子どもの人権が守られていないと感じることはどんなことですか。
- ⑥ 中学生に対して望むことはどんなことですか。
- ⑦ 中学生が参加・協力できる活動はどんなことですか。